


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 沼津市立第二中学校 】

1 実践テーマ	I・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全校生徒（全6学級） 124名 地域の方 13名（ポッチャ大会への参加）
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（ 保健体育、総合的な学習の時間、学活 ）</p> <p>② 行事名（ 学校祭 ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ フェンシングカナダチーム壮行会 ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目 標 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関して学習を深める。 ・スポーツに興味関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質を育てる。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックをより身近なこととして捉えられるようになる。 ・スポーツを通じて、共生社会の在り方について考える。
5 取組内容	<p>【学校全体で実施したもの】</p> <p>○体育理論を授業において以下のものを実施。 「WHO I AM」の視聴、「I'm POSSIBLE」の活用 詳細については、例年通りの実施につき省略。</p> <p>○聖火リレー視聴 6月25日に本校の教員が聖火リレーを走ったため、NHKのストリーミング動画を全校で視聴した。</p>  <p>○フェンシングカナダチームオンライン壮行会への参加 7月13日に沼津市で合宿をしていたフェンシングカナダ</p>

チームに向けて行われたオンラインでの壮行会に全校で参加した。本校からは、伝統となっている「よさこい」を全校で踊った応援動画をプレゼントした。本校の映像が流れたあと、複数の生徒から選手団への質問の機会が設けられた。



激励のよさこい動画



選手への質問場面



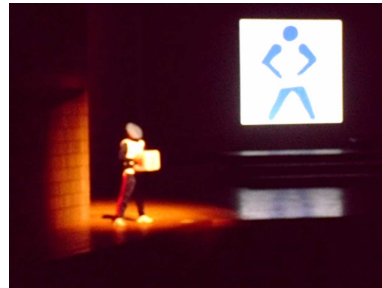
カナダチームお礼の場面



お別れのシーン

○学校祭エンディング

10月21日に行われた学校祭エンディングにて、これまでの過程を振り返る動画を流した。その中でオリンピックの閉会式を模して、ピクトグラムを用いて自分たちが実施した種目を表現した（生徒たちが自主的に考案したもの）。



○若山英史選手に関する事前学習

講演会がより有意義なものになるように、車椅子ラグビーや若山選手について調べ、質問事項を検討した。



○若山英史選手を招いての講演会

一昨年に引き続き、若山選手を招いて講演会を実施した。講演パートと体験パートに分け実施し、体験パートでは48名が車椅子に乗車し、タックル、簡易ゲームを体験した。



【以下は、縦割り型の総合的な学習の時間において、22名の生徒と実施したもの】

「オリパラを通して多くの人とふれあう」をテーマに講座を開設し、以下の活動を行った。

○フェンシングカナダチーム応援動画撮影

5月20日、6月17日にフェンシングカナダチームの応援動画の撮影準備を行った。ここでは、学校周辺の景勝地を映すことから始まり、英語で本校の紹介をすること、伝統であるよさこいをメインとすること、よさこいは五輪マークを表現しながら実施することなどが決められ、それに向けての役割分担や用具の準備、五輪のマークのライン引きなどを行った。6月17日の放課後に全校に指示を出して動画撮影を行った。

※こちらの動画については、沼津市より依頼があったため作成した。依頼されたこともあり、撮影については市の職員の方々にご協力いただいた。

○ボッチャ チーム対抗戦

9月2日実施。チームについては、教員がランダムに作成した。その際、本講座のテーマにもあるように他学年の生徒と交流することのできるチーム構成とした。

○ボッチャ大会参加者募集ポスター作り

10月11日実施。次時の大会参加者を募るためのチラシ作成を実施した。22作品の中から優れたものを8作品選出し、各ご家庭に配布した。

第1回 I♥BOCCIA 二中ポッチャ大会

第二中では、総合的な学習の時間において、「ポッチャ」を通じて様々な方々と交流を持つ取り組みを実施しています。まずは、第二中学校区の方々の交流を行います。ご都合がつく方に参加していただけたら幸いです。やったことのぬい方、大歓迎です。

みんなでポッチャを楽しもう!!!

日時：10月29日(金) 14:30~15:20

場所：第二中 体育館 (遠征お越しください)

※当日、体調が悪い方はご遠慮いただきます。

休講や休校は会場でご案内させていただきます。

担当教：第二中 遠藤健司 (055-962-1562)



参加者氏名：
連絡先：
生徒を通じて、遠藤まで提出してください。
※切：10月22日(金)

ポッチャ
チャレンジ
募集中!!!
おいでよ
これで君も
ポッチャプレイヤーだ!!!
第二中では、総合的な学習の時間において、「ポッチャ」を通じて様々な方々と交流を持つ取り組みを実施しています。まずは、第二中学校区の方々の交流を行います。ご都合がつく方に参加していただけたら幸いです。やったことのぬい方、大歓迎です。
日時：10月29日(金) 14:30~15:20
場所：第二中 体育館 (遠征お越しください)
※当日、体調が悪い方はご遠慮いただきます。
休講や休校は会場でご案内させていただきます。
担当教：第二中 遠藤健司 (055-962-1562)
ポッチャマスターに君も
なれる!!!
参加者氏名：
連絡先：
生徒を通じて、遠藤まで提出してください。
※切：10月22日(金)

○審判講習会、第1回二中ポッチャ大会

10月29日に本校校区内に住む猪浦氏を招いて審判講習会を実施した。その後、第1回二中ポッチャ大会を実施した。大会の進行、審判については中学生が審判講習会で学習したことをいかながら実施した。

※猪浦氏…静岡コミュニティスポーツ協会代表 (校区内在住)
日本障害者スポーツ中級指導員



審判講習会の様子



審判講習会の様子



開会式にて準備体操



ポッチャ大会開始



生徒たちによる審判



生徒たちによる審判

- 11月18日(コース別⑥) これまでの振り返り活動
※オンラインポッチャを企画するも相手見つからず。
- 12月2日(コース別⑦) ゴールボール体験



- 1月27日 コース別⑧ 発表会準備（予定）
- 2月16日 コース別⑨ 発表会準備（予定）
- 3月14日 校内報告会（予定）

6 主な成果

目標の内容、事前・事後学習の内容を踏まえ、実施事業から得られた成果を記載してください。
アンケート等を実施した場合には、実施事業の前後で変化があったと思われる部分を重点的に記載してください。

3年生は、入学当初よりオリパラ教育を実施してきた。それにより、学校祭のエンディングにオリパラの要素が自然と入り込んできた。教員もパラリンピック観戦者が多く、パラリンピック開催時期には職員室内でパラリンピックの魅力が多く語られていた。4年間、継続的にオリパラ教育を実施してきた成果の一つとして考えられる。

本校の目的に対しては、パラリンピックの学習が非常にマッチングしていると感じられる。

- 生涯に渡って運動に親しむ資質
→ ゴールボールやボッチャに取り組むことで、スポーツに取り組む上で大切なことは、得意か不得意かではなく、仲間とともに楽しもうとすることが大切であることに気づく。
- 共生社会のあり方について考える。
→ 「WHO | AM」を視聴すると、種目に取り組む様子の他にも生活環境などを確認できることから、障害を持った選手の特徴だけでなく、共生社会にはどのような生活環境が必要なのかを考えるきっかけになる。
また、ゴールボールや車椅子ラグビーに取り組むことで、周囲でサポートする人が、どのような配慮をしてあげると選手が助かるのかを考えるようになる。

その他、講演会の感想や「WHO | AM」を視聴した感想を聞くと、選手たちが力強く生きている姿に感銘を受けている様子が伝わってくる。

以下、生徒たちの感想。波線部は、事前事後で生徒たちに大きな変化があった点。

○若山選手講演会の感想より

今回、東京でオリンピックがあり、夏休みにテレビで見ている人が、自分たちと同じ体育館にいることが信じられなかった。若山選手は自分の障害よりも競技のよさ、面白さについて語っていて、車椅子ラグビーを心から楽しんでいる姿が尊敬できた。車椅子ラグビーを実際に体験してみたら、女性でも十分に楽しめるなと感じた。「マダーボール」と言われるけど、怖さより楽しさの方が勝っていた。若山選手にはぜひ金メダルを取って欲しい。(1年女子)

僕は1年生の時も体験させてもらい、そのときは上手にボールを運ぶことができませんでしたが、今日ボールを運べて、タックルもできて、とても楽しかったです。初めてメダルを触り、とても重くて、僕も欲しいと思いました。(3年男子)

私は最初、パラリンピックにあまり興味がなかったです。ですが、若山選手がプレイしている姿を見たいと思い、初めてパラリンピックを見たときは衝撃でした。障害を持っているとは思えないほど生き生きとしていて、とても楽しそうでした。(3年女子)

○ボッチャ チーム対抗戦の感想より

オリンピック、パラリンピックで世界中が盛り上がる中、自分も学校で競技をプレイできて嬉しい。今回は、チームのみんなと誰が投げるべきか話し合いながらゲームを進めることができた。次回はボールの軌道をもっと考えてプレイしたい。(3年女子)

実際にボッチャを行ってみて、手や足に制限がある中で自分たちよりも正確なショットができるのはとてもすごいと思いました。そして、もし機会があるのなら他校などの方と交流できたらいいなと思いました。(3年男子)

○審判講習会、第一回第二中ボッチャ大会の感想より

今日は地域の人達とボッチャと通じて交流することができて楽しかった。今はあまり交流することがないけど知らない人とも一緒にボッチャをすることで自然と笑顔になれた。あまり交流が得意ではないけどやさしい方々が良かった。

審判講習はボッチャについて詳しく知るいい機会となった。ボッチャをする人への親切がとても大事で大きな声でわかりやすく伝えるというような日常でも大切なことも意識しなければならぬとわかった。いのうさんも言っていたようにコミュニケーションを取ることは大切だけど、うまくするのは難しいと思った。これから初めてあった人とのコミュニケーションも上手になっていきたい。(3年男子)

今日は地域の人と一緒にボッチャをすることができた。また、静岡県コミュニティスポーツ協会から指導員の方(猪浦さん)に来ていただき、主にボッチャのルールを教えてもらった。地域の方々とはボッチャをしていく中で猪浦さんの言葉にもあった通りコミュニケーションは大切だとわかった。これはボッチャ関係なく大切なことなので日々の生活にも活かしていきたい。(3年男子)

○ゴールボールの感想より

	<p>ゴールボールはやっている側は意外と怖さがなく楽しかった。ボール係や得点係の声かけがないとうまくボールの受け渡しができなかったり、プレイの声がなく突然のことで驚いたりした。コミュニケーションをしっかりと取ることによって安全に楽しくゴールボールができるのだとわかった。(3年男子)</p> <p>初めてのゴールボールだったけど思っていたより楽しくてしかも怖くて、目が見えない人のスポーツがどんなに恐怖心をもっているのかよくわかった。もっとパラリンピックなどで行っている競技を知っていきいたい。(1年女子)</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>学校が事業を実施するにあたって工夫した点(地域特有の伝統や地理的要因など他の学校・地域とは異なる成果が得られると思われる点)を記載してください。</p> <p>今回の実践では、オリンピック開催年度ということで、合宿地としての交流ができた。これについては、本校をオリパラ推進校として認知していた市からのオファーであったが、学校全体のオリンピックムードを盛り上げていくことの一助となった。</p> <p>ボッチャの取り組みでは、地域には神社の境内を使ってゲートボールやグラウンドゴルフなどに興じている老人の方々や、学校教育に興味関心の強い地域の方々がいるので、その方々を積極的に取り込んで大会を実施した。告知には、自治会の回覧板を用いたり、地域の会合で校長にアナウンスをしてもらったりした。各ご家庭配布用のチラシ作りもGIGAスクールにより貸与されている自分たちのパソコン端末を利用して作成した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他校が同様な事例を行う場合や、今後同じような事業を計画するときに改善するべき点を記載してください。 ・東京大会以降、本取組が将来にわたって継続していくために必要な点や課題点と考えられる内容を記載してください。 <p>「WHO AM」を利用して、パラリンピックへの注目を高めていたが、東京大会前の内容がほとんどで、少し古い情報になりつつある。東京大会実施後の映像資料(5分程度だと使いやすい)があると継続的に注目していくことができる。</p> <p>外部と交流を進めていく際には、アポイントを取ることが困難であった。他校の実践を参考にしながら、どのような相手であればアポイントが取りやすいのか参考にしていきたい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施校として、東京大会以降、どのように本事業を活用(継続・発展)していく予定か記載してください。 <p>大会があるなし関係なく、体育理論を中心にオリンピック・パラリンピックに関する学習を深めていく。</p> <p>講演会はもとより、パラスポーツ大会を実施したり、地域の方々との交流ボッチャ大会をしたりするなど、共生社会に対する理解を深めるためのツールとして活用していきたい。</p>